

平成 26 年 12 月 2 日

国立市役所 市長室広報担当

報道機関 各位

## 原爆投下から 3 年後の広島を舞台に繰り広げられる 父と娘の希望と再生の物語、井上ひさし作 『父と暮せば』のひとり読み語りしばいを開催します

井上ひさし氏原作の『父と暮せば』に感銘を受け、愛知県で農業を営みながら広島  
島の原爆の記憶と困難に負けない人々の想いを伝えるために、ひとり読み語りでこ  
の作人のしばい活動を行っている天のたつし氏の公演を、市主催で下記の内容で開  
催します。

物語の舞台は、原子爆弾が投下されて 3 年後の広島。ひとり生き残った負い目か  
ら、幸せになることを自らに禁じてひっそりと暮らす美津江。その悲しみの魂を再  
生へと導いていく亡父、竹造…。

### ココがオモシロイ！

裸電球ひとつの簡素な舞台上で、物語の登場人物を天の氏がすべてひとりで演じ  
ます。方言を用いたその情感豊かなセリフまわしや物語の構成に、思わず笑みがこ  
ぼれるシーンもあります。

また、シリアスになりすぎず、戦争、原爆、平和、親子の愛と絆、そして、いま  
生きている意味を、観る者の心に深く問う公演です。

ぜひ、貴媒体への事前告知および当日の取材・掲載方をお願いいたします。

公演名	『父と暮せば』(作：井上ひさし)
構成・出演	天の たつし氏 (松風の会)
日時	12月6日(土) 午後7時開演 (6時30分開場、上演時間約80分)
場所	福社会館4階 大ホール (富士見台2-38-5)
定員	150名 (当日先着順。直接会場へお越しください)

### ココも注目！

上記会場にて、著名な漫画家が終戦の日の記憶を綴った『昭和二十年の絵手紙』  
展示を同時開催します。作者：ちばてつや、森田拳次、わたなべまさこ ほか

お問い合わせ

国立市 市長室男女平等・人権・平和担当係  
TEL：042-576-2111 (内線) 229